

CONTENTS

No.287 2024年8月号 草月指導者連盟機関誌

32 30 26 23 22 21 16 12 10 6 4 2

32	だから、おしゃべりはやめられない 第95回「フランスと草月」
30	草月いけばな展「花のスケルトン」
26	勅使河原茜の花 「立体造形」とは？③ 現代性・創造性
23	支部活動報告 石川県支部展／徳島県支部展／北海道支部展／茨城県支部展
22	百花万葉
21	学校いけばな
16	草月×日本茜プロジェクト
12	レビュー
10	勅使河原茜作品贈呈式／「花仙の会」2024初夏の巻／第63回蘭友会らん展
6	インフォメーション 本部教室／草月WEST
4	カレンダー
2	茜家元と迎える 新年の会2025



『植物の気配』

家元が植物のかたちを浮き上がらせる。

色とりどりの空気をまとめて

軽やかに舞う植物たちを魅せるシリーズです。

表紙作品＝勅使河原茜

表紙アートディレクション＝永井裕明 (N.G.inc.)

表紙デザイン＝前田由貴 (N.G.inc.)

印刷＝東洋紙業株式会社

制作協力＝丸紅フォレストリンクス株式会社



第104回草月いけばな展(2023年)の家元作品

「遊べ、もっと！」開催！ 第105回草月いけばな展

2024年10月23日(水)～28日(月)

前期：10月23日(水)～25日(金) 後期：26日(土)～28日(月)

日本橋高島屋 S.C. 本館 8階ホール

10:30～19:00 (19:30閉場)

※25日は15:30まで(16:00閉場)、28日は16:30まで(17:00閉場)

当日券1,200円(税込)、前売券1,000円(税込) ※中学生以下無料

【監修】勅使河原茜家元

【主催】一般財団法人草月会

※出品応募に関しましては、既に締め切っております。

※会期や内容は変わることがあります。また天災及びその他不可抗力による事由により、草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

第105回草月いけばな展は、タイトルを「遊べ、もっと！」といたしました。

「創造の源泉は遊びの精神である」と先代家元・勅使河原宏は語っています。

遊びによって、私たちは日常の枠を離れ、心を解放することができます。

思いもかけない新しい発想は、そんな柔らかな心から生まれてくるのではないで

しょうか。そして、この発想を“かたち”にするのが、皆さんが日々積み重ねてき

た学びの力です。学びの力は空高く遠くに飛び出すためのジャンプ台。学びと遊

びがひとつになる時、私たちはどこまでも自由に創造の世界を飛べるはずで

す。「なぜもっと楽しまないのか、なぜもっと豊かに遊ばないのか」

本展から、この宏の声に呼応する生き生きとした個性豊かな作品が生まれてくる

ことを心から期待しています。

草月流家元 勅使河原茜

お問い合わせ [事業課]

TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

発行日＝2024年8月1日 編集・制作＝草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室 発行＝一般財団法人草月会

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 TEL＝03-3408-1154 FAX＝03-3405-4947 E-mail＝members@sogetsu.or.jp

前

号のこちらのページで、「ある海外の大使夫人へ私の絵を差し上げることとなりました」とお伝えしたのを覚えていらつしやいますでしょうか。この「ある海外」とは、フランスのことです。昔から草月とはゆかりがあり、初代家元蒼風は1960年にフランスの芸術文化勲章オフィシエ章、61年にはレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受章しています。また、第三代家元宏は映画「砂の、

女（64年）でカンヌ映画祭審査員特別賞を受賞。85年に芸術文化勲章オフィシエ章、96年に芸術文化勲章コマンドゥール章を受章しています。そういったご縁から、フランス大使館には蒼風の彫刻と屏風、そして宏の書が收藏されています。7月初旬に私の絵の贈呈式が行われ、広尾のフランス大使公邸に行ってきました。

これまでも国内外の大使公邸に伺う機会は何度かあ

だから、おしゃべりはやめられない 95

勅使河原茜

フランスと草月

りましたが、さすが芸術大国と呼ばれるフランス。至る所に美術品が飾られており、一点一点にキャプションが丁寧に付けられていました。入ってまず目に飛び込んで来たのは蒼風の大きな彫刻でした。重たい彫刻を移動するのは容易なことではありませんから、常置されているのかもしれない。たいへん光栄に思うのと同時に、蒼風、宏、そして私と、3代続けて作品を贈呈する機会に恵まれた喜びを、

改めて噛みしめました。

フランスと言えば、蒼風がかつて米国の『タイム』誌で「花のピカソ」と評されたことがあるのをご存じでしょうか。ピカソは言わずと知れた20世紀最大の芸術家。スペイン出身ですが、後にフランスに移住して創作活動を行い、晩年には陶芸にも取り組んでいます。蒼風はピカソの作品が大好きで収集しており、その中には陶芸作品もありまし

改めて噛みしめました。フランスと言えば、蒼風がかつて米国の『タイム』誌で「花のピカソ」と評されたことがあるのをご存じでしょうか。ピカソは言わずと知れた20世紀最大の芸術家。スペイン出身ですが、後にフランスに移住して創作活動を行い、晩年には陶芸にも取り組んでいます。蒼風はピカソの作品が大好きで収集しており、その中には陶芸作品もありまし

た。時を経て、それらは草月コレクションとして所蔵されています。私も個展などの「こごぞ」という時にピカソの陶器へ花をいけるのですが、その個性の強さをどう活かすか、とても難しく、いつも挑戦する気持ちでいけています（現在発売中の季刊『草月』夏号で、私がピカソの陶器にかけた作品をご覧いただけます）。

そのようなご縁もあったことから、先日、東京青山の「※ヨックモックミュージアム」におじゃましてきました。シガール（クッキー）で有名なヨックモックグループが手がける、世界有数のピカソのセラミックコレクションに出会える美術館です。中には蒼風のピカソコレクションのお仲間とおぼしき鳥の絵が描かれた皿なども展示されており、学芸員さんの熱心な解説のもと、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

美術館内では創作風景を撮影した映像も流れていたのですが、そこで職人が正確に成形した壺を、一切ためらうことなくグニヤリと曲げ、瞬く間に鳥の姿に変えてしまうピカソの姿を見ることができました。そのなんとも自由でチャームिंगな様子は、次々といけばなを生み出す「手の魔術師」と言われた蒼風の在りし日の姿と重なります。同じ創作をする人間として、蒼風はきっとピカソに大いなるシンパシーを感じていたことでしょう。

蒼風はある意味、宇宙人的で、太陽のようなパワーに溢れた人間でした。その力であらゆるものを次々と巻き込ん



フランス大使公邸での贈呈式にて。
左よりフィリップ・セトン駐日フランス大使、私、ジャンヌ＝マリー夫人。作品は夫人に直接選んでいただき、写真のものを贈呈しました。「茜」の“a”にも見えるし、何よりも色彩が素敵です」と夫人。陶芸やガラス工芸の修復・保存の専門家で、ルーヴル美術館やオルセー美術館で仕事をされていた夫人に選んでいただき、たいへん光栄です。

でいき、草月という流派を誕生させたのです。草月会館ひとつをとっても、丹下健三、イサム・ノグチという当代一流の才能を集められたからこそ、あのような唯一無二の空間が生まれました。草月はいけばなの流派ではありませんが、蒼風はもつと大きな次元で考えていたのではないのでしょうか。いけばなを学ぶことはもちろん大切ですが、草月の可能性はそれだけにとどまりません。だからこそ、皆さんには常に大局的な視点で色々なものを受け入れ、吸収していったほしいのです。そうすれば、さらに素晴らしい花がいけられますし、人間としても成長できるのではないかと思います。

※ [ヨックモックミュージアム]
東京都港区南青山6-15-1
TEL : 03-3486-8000
開館時間 : 10時～17時
休館日 : 月曜日
チケット代 : 一般 1,200円



1



1 草月会館正面エントランスに展示された家元作品。中央にある黒い柱はイサム・ノグチによる「床柱」という作品で、それを取り込み動き出すような造形となった。2 3 2階談話室に展示された出品作（1期）。自由花と「竹とあそぶ」をテーマにした作品が並ぶ。



3

草月いけばな展 「花のスケルツォ」

2024年6月12日〜27日 / 草月会館

心踊る、伸びやかないけばな

初夏の草月いけばな展「花のスケルツォ」が草月会館にて開催され、1期から5期まで総勢189名の作品が展示された。

「スケルツォ」は楽曲の区分に用いられる名称のひとつで、イタリヤ語で「冗談」が語源のユーモアを兼ね備えた楽曲を指す。本展では伸びやかで心踊るようないけばな作品とともに、草月の代名詞ともなった竹を取り入れた作品を展示。「竹とあそぶ」のテーマのもと、切る、削る、炙るなど様々な工夫を施し、新たな表現に挑戦した。

家元はエントランスに竹の大作を制作。インパクトと場との調和を考えて、オレンジ色に着色した竹を使用。割竹の輪が重なり合い、蠢くような立体造形を創り出した。この作品は6月7日から7月4日までライトアップされ、青山通りを行き交う人々を楽しませた。

季刊『草月』2024年秋号（2024年9月1日発売）では、草月いけばな展「花のスケルツォ」を特集。「竹とあそぶ」の全作品を掲載予定です。どうぞお楽しみに！
「草月出版」フリーダイヤル：0120-087-202

勅使河原茜の花

Original Works by Akane Teshigahara



重厚感のあるガラス花器。それと対比するように、3種の緑の花材が軽やかに舞い上がっていくようなイメージでいけました。

花材：まゆみ、ひめみずき、グラマトフィラム
花器：ガラス花器(岩田藤七)
サイズ：116×140×150cm



花器と水の両方を主役にした作品です。
アリウム独特の曲線を、ユーモラスに関わらせました。

花材：アリウム・サマードラマー、丹頂アリウム 花器：陶器花器（中村豊） サイズ：42×46×50cm



華やかに堂々と咲くゆりは、夏の代表的な花材のひとつ。
左右をアシンメトリーに構成し、空間の妙を楽しみました。

花材：きんかくれもみじ、山ぶどう、やまゆり 花器：自作陶器花器 サイズ：90×99×66cm

「立体造形」 とは？③

「いけばなは立体造形である」。この理念を構成する要素のひとつである「現代性・創造性」とは何でしょうか。今回は第二作家元・宏の竹作品から紐解きます。

「インスタレーション」とは、場所や空間全体を作品として表現する

アートのこと。1970年代に出現し、今では音や光を使った作品や観客を内部に取り込むタイプの作品など、様々な作品が展開されています。勅使河原宏はこの表現方法をいけばなに取り入れ、国内外各地で壮大な竹のインスタレーションを制作し、各界から絶賛されました。

竹のインスタレーションについて、また当時の環境について、宏は次のように語っています。「竹(割竹)にはとくに曲線の美しさがあるが、そういう竹の有機的な曲線を使って、たとえば近代建築の四角い箱の中に、全然別の意外な空間をつくりだし、それで人を包んでしまう、ということに私は関心がある。空間構成というところから入った私のいけばなは、そういう植物で人間を包んでしまうという方向をめざしているようだ。体験する空間といってもいい。「豊かさを追求したあげく、鉄とガラスとコンクリートによる半永久的な冷たい空間が日本中に生まれた。そしてその中にはモノがギッシリと詰まり、人は身動きの取れない状態になっている。そういう状態が本当にかどうなのか、今はそれを問い直してみるときではないのだろうか。」

今を生きる感覚から生まれる花は、造形美術などさまざまな表現と比肩する現代性と創造性を獲得できる。宏は自らの作品でそれを証明したのです。

2024年度のサブテーマ「いけばなは立体造形である」。立体造形の理念を構成する7つの要素「空間性」「行為」「現代性・創造性」「自然観」「素材」「古典」「形」を紐解いていきます。今号では「現代性・創造性」を、次号288号は「自然観」をご紹介します。

現代性・創造性

時代、文化、生活としての現代。懐古趣味ではなく、いまを生きる感覚から生まれるもの。常に新しいものを創造する精神。造形美術を中心とする、他のさまざまな表現、思潮と並んで。



勅使河原宏展「舞竹」。宏がこれまで手がけた竹のインスタレーションの集大成ともいわれている。2400本以上の真竹を用いて、会場となった美術館の内外の空間を変貌させた。

- 1 割竹の茶室。無機質な現代建築の空間が、竹によって有機体的に変化している。
- 2 3 広場から美術館入り口へと続く階段を、波打つ割竹が駆け登る。波の勢いとどまらず、上段にある柱にまで巻きつく表現は圧巻。(1997年/広島県現代美術館)

石川県支部展



石川県支部のInstagram

第21回石川県支部展奉納いけばな展・献花式

5月31日～6月2日
尾山神社

- 1 運営委員の作品。
- 2 1部会の作品。 3 14部会の作品
- 4 2部会の作品。 5 6部会の作品。
- 6 13部会の作品。 7 11部会の作品。
- 8 8部会の作品。
- 9 岡部弘邦支部長による献花。
- 10 11 個人作品。



自然と調和しながら

金沢市の中心部に位置し、百万石まつりのメイン会場となる尾山神社にて、石川県支部展が開催された。

目指したのは「見に来られた方や偶然いらした観光客の方に、いけばな作品を楽しんでもらうとともに花の素晴らしさを伝えられる」展覧会。昨年より作品数を増やすため、支部会員に広く参加を呼びかけ、部会の垣根を超えたグループ作品や、個人作を募集した。さらに、作品のテーマを統一し、神社の新緑を取り込みながら、自然との調和を意識して制作。草月が得意とする場を意識した作品で、一体感ある空間を演出した。

北陸新幹線の敦賀延伸が話題になる中で開催された本展は、元日に発生した能登半島地震からの復興を願うとともに、草月の魅力を広くアピールするものとなった。

徳島県支部展



徳島県支部のInstagram

KAMI・HANA・遊ぶ



- 1 徳島県支部による合作。
- 2 林春麗支部長の作品。
- 3 出村丹雅草さんの作品。
- 4～8 グループ作品の一部と会場の様子。



紙と植物の融合

ものづくりでも名高い水都・徳島の玄関口に建つ徳島グランヴィリオホテルを舞台に、2年半ぶりとなる徳島県支部展が開催された。

作品制作においては、タイトルに「KAMI」「HANA」とある通り、紙や紙の材料となる素材と真摯に向き合った。紙は身近でありながら奥深い表情を持つ、魅力秘めた素材。その個性や特性を引き出しつつ、のびやかで力強い生命力、一瞬にして空気を交えるパワーをもつ植物たちとの一期一会の融合を楽しみながら構成した。

また、個人作に加えグループ作品も展示。季節を意識しながら、未来への期待と希望を感じられる、軽やかな動きのある花空間を目指した。遊び心たっぷりの作品群は、梅雨入り間もない水の都にひとときの清爽をもたらした。

6月15日・16日
徳島グランヴィリオホテル

北海道支部展



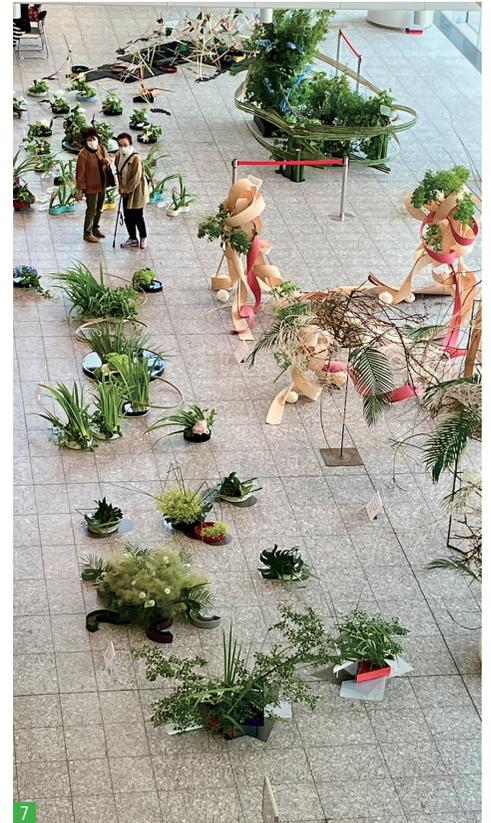
北海道支部のInstagram

草月「花笑む」まちかど展
あなたの笑顔が見たいから

6月22日・23日
札幌市文化芸術交流センター



1 伊藤遊支部長・石川可紅さん・杉山真紅さん・堀田桃櫻さんによる合作。2～7 会場の様子。



楽しさを感じてもらおう

札幌市の中心部に位置する札幌市文化芸術交流センターにて、北海道支部展が開催された。これまでの支部展は百貨店を中心に開催していたが、今回は創流100周年への助走とし、花展に出品したことがない人の参加を促すことを念頭に会場を選定した。

目指したのは、多くの方々に関心を持ってもらうとともに、自然と顔がほころぶような楽しさを感じていただける花展。会場1階では「緑をいける」をテーマにダイナミックで自由な表現の大作数点を展示。さらに、それらを囲むように水盤を使った作品や床上がりの作品を、4チームで数十点制作した。2階では草月流の個性をいかした「私の花」をテーマに展示。大作、小品、壁作品など多彩な作風で構成し、草月の幅広さをアピールした。



茨城県支部展



茨城県支部のInstagram

光HIKARI ～無限の未来へ～

6月28日～30日
水戸市民会館やぐら広場

オープンスペースでPR

建築家の伊東豊雄氏による設計で、開館されたばかりの水戸市民会館 やぐら広場にて、茨城県支部展が開催された。

「光HIKARI ～無限の未来へ～」をテーマに、総勢64名が日々研鑽を積んできた成果を披露。光輝く夢と希望を花とともに未来へ繋いでいくという思いのもとに制作し、ご来場された方に心躍るひとときを届けた。

会期中には小学生を対象としたいけばな体験教室も実施。一人ひとりが集中して取り組み、個性豊かで素敵な作品を創り上げた。

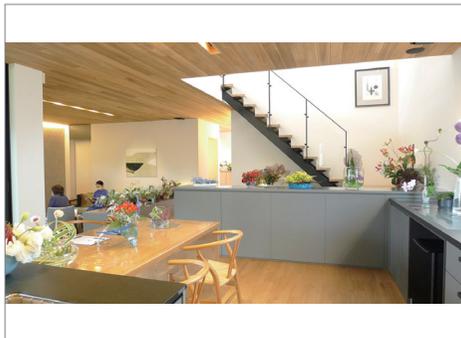
エントランスロビーからつながるやぐら広場はオープンスペースとなっており、朝8時30分～夜10時までと、長時間開放されているため、より多くの方に草月を知っていただく絶好の機会となった。

2 中島薫風支部長の作品。
3 茨城県支部による合作。
1、4～7 会場の様子。



三浦沙光社中 暮らしのなかのいけばな展
～積水ハウス展示場を彩る、憩いの花

2023年6月2日～4日
大分／積水ハウス TOS展示場内
三浦沙光社中



住宅展示場に初夏の花を。モダンな空間にマッチした季節の花で心和む空間となっていたとの感想をいただいた。

Annual convention of Nova Scotia Association of Garden Club

2023年6月2日～4日
カナダ(ノバスコシア州)／Mount Saint Vincent University
Miyako Ballesteros 虹都



毎年開かれるガーデンクラブの会合でデモとワークショップを実施。笑いの絶えない楽しい時間となった。

プレオープンイベントに

2023年6月4日
岡山芸術創造劇場ハレノワ
三宅香星



劇場のプレオープンイベントに迎え花を制作。会場入口を華やかに彩り、来場者から好評を得た。

第40回「浜松・遠州=花の祭典」中日いけばな芸術展

2023年6月7日～12日
静岡(浜松市)／遠鉄百貨店本館8階
草月55名 写真作品:児玉香蓮(左)、福留青優(右)



タイトル「おかげさまで40回」の記念展が開催。華やかな作品が多く、来場者からお祝いの言葉をいただいた。

ミュンヘン支部20周年記念花展

2023年6月1日～4日
ドイツ／Botanischer Garten München-Nymphenburg
ミュンヘン支部



コロナ禍で延期になっていた20周年記念花展を盛大に開催。50人が出品し、週末には列ができるほど盛況となった。

2023日韓友好いけばな展

2023年6月2日・3日
愛知／駐名古屋大韓民国領事館
斉藤沙映・佐伯侑紀・長谷川萩貞



7年ぶり3回目となる総領事館でのいけばな展が開催。総領事が初めて出品なさり、日韓の友好が深まった。

第24回草月四季の会いけばな展「わたしの花」

2023年6月3日・4日
富山(南砺市)／福野文化創造センター ヘリオス
富山県支部 四季の会 写真作品:田村秀華 他13名



個人作は62名の全出品者が「わたしの花」に挑戦。その他、インスタレーション、合作も、自由に力強く表現した。

玉置麗石社中いけばな展 テーマ「花の彩り」

2023年6月3日・4日
三重／松阪市文化財センター 第3ギャラリー
玉置麗石社中



社中展のモットーは、異質素材等を使い、楽しみながらいけること。玉置先生の突然のご逝去で最後の社中展となった。

書籍に掲載

2023年5月29日(発売)
『Urban Farming Life』
小杉祐紗 撮影協力:日本橋いけばなスクール



東京の緑化推進として廃棄予定の野菜の活用方法を提案する書籍で、野菜を使ったいけばな作品を制作した。

ADC賞授賞式

2023年5月30日
東京(千代田区)／帝国ホテル「桜の間」
大川礎實



ADC賞の授賞式典の装花を担当。年鑑誌の表紙の色に合わせた、季節感のある花材を使用して制作した。

宮崎県華道協和会花展

2023年6月3日・4日
宮崎市民プラザ 4階ギャラリー
草月24名



8流派9支部による華道協和会花展が開催され、当季の花の輝きが会場いっぱいに広がり、大盛況となった。

「究道無限～舞と組踊～」(琉球舞踊)の独演会に

2023年6月3日・4日
国立劇場おきなわ
赤嶺羊染社中7名



独演会の会場に迎え花を。割竹をメインに、松、椿、しゃくやく、グロリオサ等で構成した大作を展示した。

初夏のつどい展

2023年5月19日～21日
京都 / JARFO ART SQUARE
ミシェル・ネワール(ウクライナ出身)・野村花遥・三宅真遥



ロシアによる侵攻後イギリスへ移住したミシェルさんが、親先生の野村さん、同門の三宅さんと花展を開催。

第54回水戸市芸術祭いけばな展

2023年5月19日～21日
茨城 / 水戸芸術館 現代美術ギャラリー
茨城県支部



テーマは「浮游」(Uzumaki)」。展示室いっぱい竹を組んで、浮游感とシンブルな美しさを表現した。

玄関花

2023年5月11日～31日
宮崎 / あすなろの里
樋口南草



施設内でのクラブ活動。コロナ禍で3年近くの休止を経て開催された。指導後、受付に明るく和やかな花を制作。

インターナショナル カルチャーデー

2023年5月19日
東京 (三鷹市) / アオバジャパン・バイリンガルプリスクール
指導: 塚本智遙



園児たちが各国をテーマにしたブースで、色々な国の文化などを学ぶ行事に参加し、日本ブースからいけばなを紹介。

第39回サンカ会写真作品展

2023年4月22日～24日
徳島 / シビックセンター 3階ギャラリー
藤目順雪中 他有志 (板井修晴・中野妙雪)



予算に合わせて、自宅の庭の植物も活用しながら制作。コロナ禍も落ち着き、例年より多くの方が来場された。

未来の杜せんたい2023メイン会場野外ステージイベント

2023年5月4日
宮城 (仙台市) / 青葉山公園 イベントステージ
チーム丹野霞園



津軽三味線の演奏といけばなデモのコラボ。最後にステージが反転して絵から書に変わる演出に大拍手が沸いた。

合唱団やまびこ 第12回演奏会

2023年5月28日
福岡 (朝倉市) / ビーポート甘木 中ホール
高瀬玉波



合唱団やまびこによる演奏会「やさしく確かめあって…」の会場に舞台花を制作。好評を博した。

老人ホームの誕生会でデモ

2023年5月28日
神奈川 (川崎市) / ネクススコート久地
大園芳雪 他



東京南支部の研究会で使った青竹と様々な初夏の花で、ご入居者様の思い出を大切に、との気持ちを込めていけた。

日立市芸術祭「初夏のいけばな展」

2023年5月27日・28日
茨城 / 日立シビックセンター 1Fギャラリー
日立華道連合会会員16名



6流派による合同展。草月流は季節感漂う作品が並んだ。役員作品の4点は枯れついで連花的に仕上げた。

創立40周年記念樹々の会展「ここから」

2023年5月27日・28日
富山県民会館 展示室
富山県支部 樹々の会



会場の核となったインスタレーション「宙」で、40年の時の流れ、現在、未来へ続く「無限の時間の流れ」を表現した。

第26回総合花展金沢展

2023年5月24日～29日
石川 (金沢市) / 香林坊大和 8階催事場
草月139名 写真作品: 谷口栄波



石川県いけばな文化協会の華道家が流派の垣根を超えて集う総合花展。15流派から248点が出展された。

株主総会で迎え花

2023年5月25日
東京 (港区) / 乃村工藝社
市川愛霞

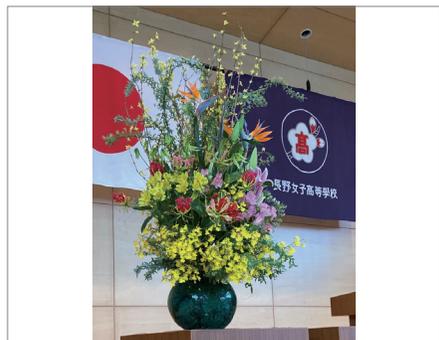


株主総会のために、オフィスのロビーに迎え花を。初夏の枝ものに色とりどりの花を合わせ、華やかな空間を演出した。

● 学校いけばな

卒業式

長野女子高等学校
指導：山崎恵美子



門出をお祝いする気持ちを込めていきました。創立100周年を迎える2年後に閉校となるため、厳かな空気の中、3学年が揃う最後の卒業式でした。

2024
3/2

6年生が入学式にいける

長崎／精道三川台小学校
指導：笹島彩桂



入学式の式場のステージに、6年生が花をいけました。桜、八重桜、着色松、やまぶき、金魚草を使い、新一年生への歓迎の気持ちを込めて。



2024
4/6
～8

年間20回の稽古

三重県立明野高等学校
指導：大間春豊



テキスト1、2を使った稽古を行っています。最大のイベントは文化祭で、集大成となっています。卒業式にコサージュをプレゼントするのも華道部の歴史です。

2023年度

様々な活動を

福岡県立糸島農業高等学校
指導：甲斐明葉



2023年度は17回の活動を行い、基本花型を中心に取り組みました。恒例の糸農祭(文化祭)への参加の他、コサージュ作りにも挑戦しました。

2023年度

学園祭

東京／百合学園中学高等学校
指導：望月兆霞・海老原綾霞・関夕霞



中学生は花型の作品、高校生は自由花の個人作に挑戦しました。生徒が行った学園祭のデモンストレーションは今も好評でした。

2023
9/16
～17

留学生体験レッスン

京都／同志社女子大学草月流華道部
指導：石走俊桂



国際課からの依頼で、留学生の体験レッスンを春6名、秋7名の2回実施。花型法のデモの後、華道部の学生のサポートで楽しく体験をさせていただきました。



2023
10/11

宮崎山形屋玄関に

2022年7月25日～31日
宮崎山形屋
坂元清草



藤づるを、水を使わず、躍動感が出るように構成した。色の対比を楽しみながら。

横浜開港アンデパンダン展

2022年3月29日～4月4日
神奈川(横浜市)／伊勢山皇大神宮
上原瑞光



伊勢山皇大神宮内にある東屋に、いけばなの代表的な型「梅くぐり」を、れんぎょうを使っていけた。

「第23回竹ものがたり」にいける

2019年9月16日
佐賀／吉野ヶ里町東脊振健康福祉センター
前田寿節グループ



毎年開催されるバンブーオーケストラのステージに、社中で竹の大作をいけた。今回で11回目。

退社式

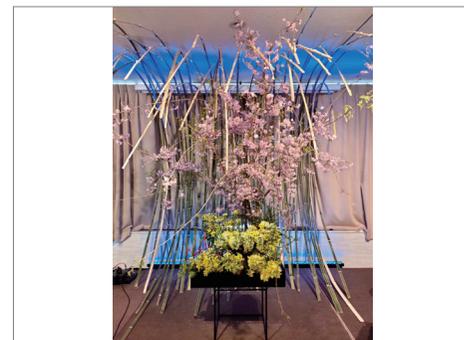
2022年12月5日
東京(港区)／東京ガス株式会社本社
横井紅炎・草月華道部



50年以上続く東京ガスの華道部が、本社の退社式にオブジェを出品。はなむけの花とした。

音楽といけばなのLIVE

2022年4月10日
徳島コティ
新田陸嘉 他



ギタリストと篠笛奏者ユニット「竹弦囃子」とのコラボ。今回で3度目となる。満席超えの盛況ぶりとなった。

お店オープンで迎え花

2020年8月8日
栃木／LIEN BASE 宇都宮西原店
大谷美香



新規オープンに迎え花を制作。「インスタで話題になるようなものを」との要望に応え「映える」作品を目指した。



贈呈式でのフィリップ・セトン駐日フランス大使。右奥には宏の書が飾られている。

苗家元のペインティングがフランス大使館に收藏され、その贈呈式が行われた。フィリップ・セトン駐日フランス大使は「蒼風家元、宏家元、そして苗家元と、二代家元の作品を收藏できる喜び、草月との絆はさらに深まるでしょう」と述べた。苗家元は「異端児だった蒼風を最初に評価してくれたのは、フランスをはじめとした海外の方々でした。芸術には人と人を結びつける大きな力があります。今回のことはたいへん光栄であり、その力を感ぜずにいられません」と喜びを語った。

勅使河原茜作品贈呈式
7月3日
在日フランス大使館 大使公邸

フランスとの絆



(左・中) フランス大使館に收藏されている蒼風の彫刻と屏風。(右) 大使夫妻と家元、季里さん、そして財団理事・監事の皆さん。

この秋、家元と触れ合える特別なイベントがまたやってくる!

茜の部屋 Part 2

昨年初めて開催された「茜の部屋」。多くの方にご好評をいただいた特別イベントが、今年も開催されます。草月らしい心地よい秋の時間を、家元と分かち合いませんか? 詳細・ご参加方法は、次号『草』10月号にて発表いたします。お楽しみに!

2024年11月23日(土・祝)

会場：草月会館2階
出演：勅使河原茜家元
主催：一般財団法人草月会



昨年開催された「茜の部屋」の様子。

お問合わせ [事業課] TEL : 03-3408-1156 / FAX : 03-3405-4947 / E-mail : kikaku@sogetsu.or.jp

草月 × 日本茜プロジェクト

No.3

苗家元が美山へ

本プロジェクトが開始して5ヶ月が経過した5月の半ば、今年1月にまいた種も無事に発芽し、成長した苗を畑に植える作業を行いました。畑は京都府南丹市美山町にある「美し山の草木舎」。本プロジェクトを共同で進める一般社団法人日本茜伝承プロジェクトの皆様との協力のもと畑を耕し、苗を植えるまでがこの日のミッションです。

作業は苗家元をはじめ京都支部の皆さん、本部スタッフの約20名でクワやスコップを使つての慣れない畑仕事から始まりました。硬くなった地面を掘り起こし、土を柔らかくしながら畝を作ります。放棄地ということもあり土の中から小石や植物の太い根が大量に見つかり、掘り起こした根を見ては「これは面白い!」「いけばな作品に見える!」などの声を上げながら、午前中の作業を進めました。午後は出来上がった畝にマルチ

家元より作業を終えて

清々しく美しい自然の中에서도気持ちの良い時間を過ごしました。短い時間でしたが作業に参加できて「日本茜」が一層身近で特別な存在になったように思います。大勢の皆さんの思いに支えられて、「元気に大きく育つてくれること」を願っています!

シートを敷いて穴をあけ、苗を植えていきます。苗をポットから出す前に水にたっぷりつけ吸水させてやるのがポイント。そうすることで根が活着するまでの水切れを防ぐことができます。約200本もの苗を植え、最後にもう一度水をしっかりとやって予定していた作業を終えました。ここからさらに根を張り、大きく育って染料の素材になるのはまだまだ先の来年冬。ゆっくりと成長を見守っていきましょう。

畑を耕し苗を植えた、家元と京都支部、本部スタッフ。順調に育ちますように!



会員証がデジタルになります。

現在、国内の草月指導者連盟会員の皆さまに発行しております紙製の会員証は、2025年度より草月メンバーズサイトのデジタル会員証になります。この機会にぜひメンバーズサイトにアクセスを。



【お願い】メールアドレスをご登録いただいていない方は、会員サービス部までお知らせください。
※ドメイン設定(受信拒否設定)をされている方は「sogetsu.or.jp」からのメールを受信できるようドメイン設定を解除していただくか、または「sogetsu.or.jp」を受信リストに加えていただきますようお願いいたします。

[お問い合わせ] 会員サービス部
TEL : 03-3408-1120 / FAX : 03-3405-4947
E-mail : members@sogetsu.or.jp

草月文化活動支援基金への
ご協力ありがとうございます
2024年5月〜6月に当基金に
寄せられた寄付金は、左記の通り
です。(掲載は一万円以上、敬称略)
吉田清泉 Lucille H. Evans 星花、英
会代表・平嶋英宝、畠山知香、土田
由萌、茨城県支部県南地区、杉本青
門、Joan T. 友穂、4クローバーズ
ホテルにけるV 「五月のかぜ」出
品者一同、富山県支部星秀会、本多
恵秋、小林紫虹、大森秋紅、福島光
加、「福島光加と北のルビー」の会
展「出品者一同、加藤久美子、右近
翠秋、尾高肇江、くさの実会、落合
春翠、岡田昌晴、ささやく絵本&草

月流コラボ展、富山県支部耀の会
訃報
橋本黎子(黎峰) 大阪府/理事
二〇二四年四月二十三日 享年八十八歳
山辺三重子(蜜珠) 神奈川県/顧問
二〇二四年五月九日 享年八十八歳
吉村邦子(溪水) 岐阜県/理事
二〇二四年五月十日 享年九十二歳
北井久代(紫瓊) 大阪府/顧問
二〇二四年五月十八日 享年八十九歳
小幡麗子(秋紅) 東京都/理事
二〇二四年五月十九日 享年九十六歳
中野愛子(光庭) 東京都/理事
二〇二四年五月二十一日 享年九十二歳

いけばなと俳句

「花仙の会」2024初夏の巻
―連花と連句・草月いけばなと俳句―
5月23日
東京レジナンス

俳人で編集者の飛岡光枝さんが
店長をつとめるサイト「カフェきご
さい」の句会イベントにて、本部講
師の福島光加さんがいけばなを披
露した。福島さんが即興で花をい
け、参加者が俳句を詠み、飛岡さん
が句を選出。完成した花から俳句
を、そして選出された俳句から花
を……と、花と俳句が連なる斬新
なイベントとなった。



選出された俳句と、福島さんのいけばな作品。

蘭で遊ぶ

第63回蘭友会らん展
く蘭で遊ぶく
6月6日〜9日
サンシャインシティ

第63回蘭友会らん展にて東京
南支部が蘭を用いたいけばな作品
を展示した。蘭友会の方が丹精込
めて育てた蘭をいけこみ当日にご
提供くださり、楽しみながら蘭の
魅力を最大限に引き出せるよう、
作品に取り組んだ。そのほか会場
では、胡蝶蘭を使い、実際に木に
着生させるワークショップなども
開催された。



東京南支部による合作。

「令和6年能登半島地震」義援金のお願い

能登半島地震において被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。
被災地の日も早い復旧・復興を願いますとともに、草月会では、会員の皆さまから
義援金を募り、被災された会員の皆さまに対して支援活動を行います。
ひとりでも多くの方に義援金へのご協力をいただきたく、なにとぞよろしく願い申し上げます。

[募金方法]

< お振込で >

下記のいずれかの口座にお振込ください。
・三菱UFJ銀行 青山通支店(普通口座) 1797877
【口座名義】一般財団法人 草月会
※振込者名の前に「ギエン」と明記してください。
(例/ギエンソウゲツハナコ)
・ゆうちょ銀行 018支店(ゼロイチハチ)
(普通預金) 4008067
【口座名義】一般財団法人 草月会
※通信欄に「震災義援金」と明記してください。

お問合わせ [総務部] TEL : 03-3408-1154 / FAX : 03-3405-4947 / E-mail : somu@sogetsu.or.jp

いけるちゃんも
能登半島の皆さまを
応援しています



< 草月会館で >

3階総務部にて現金でお受けいたします。

< 現金書留で >

書留封筒に「震災義援金」と明記の上、下記の住所に
ご郵送ください。
〒107-8505 東京都港区赤坂 7-2-21
一般財団法人草月会 総務部 宛

[受付期間]

2024年2月1日(木)〜8月30日(金)

機関誌「草」オンライン版も読んでみませんか?
日本語・英語両方で掲載しております。

オンライン版限定の無料カリキュラム動画もあります。
8月号では下記のテーマをご覧ください。
○テキスト4-5 「なぜざし」(音声英語、字幕日本語)
石川己青師範
○テキスト4-4 「一種いけ」(音声日本語・英語字幕)
中村草山師範

その他、アメリカ・ダラス支部設立50周年記念イベント(西山光沙師範招聘)の様子など、世界各地の草月会員の活動をお知らせしています。

会員サイトの日本語ページでは2020年4月号以降の機関誌バックナンバーも閲覧いただけます。

メンバーズサイトへは右のリンクから!→

[お問い合わせ] 海外課
TEL : 03-3408-1151 / E-mail : overseas@sogetsu.or.jp



動画で見る
パリ大茶会

草月の歴史を振り返る映像を、動画配信サイトにて配信中です。

【配信動画】「パリ大茶会」(1993年)
花の都パリで開催された宏プロデュース大茶会。日仏会館の建設を記念し、
ユネスコと駐日日本大使館が主催した日本文化祭でのイベントです。
3,000本の竹を使った野点席「瞬庵」は圧巻の光景です。
【料金】1,100円(税込) 【期間】2024年8月31日23:59まで
詳細は草月流ホームページ(メンバーズサイト)をご覧ください。

9月以降も新たな動画を配信予定

[お問い合わせ] 事業課 TEL : 03-3408-1156 / E-mail : kikaku@sogetsu.or.jp



※日程、講師は変更になることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。
変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問い合わせください。
原則としてお支払いはすべて現金のみとなります。

2024年度サブテーマ：いけばなは立体造形である

2024年度は「草月ってなんだろう?」を深掘りするためにサブテーマ「いけばなは立体造形である」を設け、家元研究科や公開講座など様々な授業で取り上げます。創流100周年に向けて、第三代家元・宏が提唱し続けたこのテーマと改めて向き合ってみましょう。



昨年度の家元研究科では、2023年度のサブテーマ「線色塊」を、様々な授業で取り上げました。写真は昨年7月の茜家元による家元研究科（テーマ「線と塊」）でのデモ作品。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。ワンレッスン受講可能。

再入会金が不要

9月	13日(金) 西山光沙	10月	2日(水) 岡崎 忍
	20日(金) 岩淵幸霞		11日(金) 岩淵幸霞
	25日(水) 澤田晃映		18日(金) 澤田晃映

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時(受付:17時30分~19時30分) ●入会金:11,000円 ●月謝(月3回分):13,000円(花材費別2,000円/都度払い) ※家元教室・家元研究科(1回)への振替受講ができます。 ※証書申請可能。
※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(5,000円・花材費別2,000円/都度払い)。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

9月	2日 高木水染	10月	7日 石川己青
	9日 福島光加		21日 福島光加
	30日 坂口水恵		28日 高木水染

●毎週月曜日 ●10時30分~12時30分 ●受講料:7,000円/1回(花材費2把分込み。月4回目以降は6,000円) ※証書申請可能。

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。昨年度に引き続き、年間サブテーマ「いけばなは立体造形である」、注目家元「宏」をテーマに取り入れます。

受講日・テーマ	講師	内容
9月7日(土) 【いけばなは立体造形である】 “形”造形はなぜおもしろい —立体オブジェをつくる—	 丹野霞園	ギャラリーに展示することを想定し、意外性のあるオブジェをつくります。 風船の中に石膏を流して形作ると、半偶然性により想像以上のオブジェが現れます。 さらに、出来上がったオブジェに植物や異質素材を融合させ、自分だけの世界を完成させます。 誰にも予測できない造形のおもしろさを、一緒に楽しみましょう。
10月9日(水) 【宏】【いけばなは立体造形である】 「いけばなは立体造形である」 —宏先生のことば—	 州村衛香	草月いけばなの本質ともいえる「いけばなは立体造形である」をテーマに、立体・空間・バランスを意識しながら、作品を制作します。 宏先生のことばに寄り添いながら、“その時”にイメージした「発想力」と「瞬発力」を大切に、自分だけの表現ができるよう、たのしく学びを深めていきましょう。

●授業時間:10時30分~16時 ●受講料:15,000円(材料費・昼食代込み) / 入会金なし ●申込資格:草指連会員 ●定員:40名 ●募集:随時受付中。郵便振替または会員サービス窓口でお申込みください。[郵便振替口座] 口座番号:00180-6-119808 / 加入者名:(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。 ●申込締切:開催日の1週間前(ただし定員になり次第締め切ります) ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降(年度内)に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費(材料費および昼食代)をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

複数受講割引あり!

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。草指連会員の方なら、どなたでも受講いただけます。複数受講割引もスタート。より深く学ぶことができます。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
9月	6日	7日	9日	私がいけた花に連花して遊ぶ	家元
10月	25日	26日	28日	常にスイッチオン・花との出会い	日向洋一

●申込方法:新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料/家元:15,000円(花材費2把分込み。同月2回目以降は12,000円) / 本部講師:13,000円(花材費2把分込み。同月2回目以降は10,000円)

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

9月	火曜	3日 中村草山	10日 隅出美泉	17日 片山 健
	木曜	5日 岡崎 忍	12日 坂口水恵	19日 加藤久美子
10月	火曜	8日 篠崎洵雅	15日 中村草山	22日 五十野雅峰
	木曜	3日 岡崎 忍	10日 坂口水恵	17日 加藤久美子

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時(各日3回開講) ●入会金:11,000円 ●月謝(月3回分):13,000円(花材費別2,000円/都度払い) ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(5,000円・花材費別2,000円/都度払い)。

「Teaching Ikebana in English」特別編

『広げよう！草月を世界に Part3』

初参加大歓迎。
英語で「まぜざし」[単純化の極]の指導に挑戦！

草月WESTや草月会館では、毎週多くの海外の方が教室を受講します。2025年に開催される京都での「いけばなインターナショナル世界大会」や2027年の草月創流100周年を控えるいま、英語での指導がますます必要とされています。海外での指導経験が豊富な福島光加師範から実践的な英語での指導方法を学び、世界での活躍を目指しましょう！

受講日	講師	講師メッセージ
8月25日(日)	 福島光加	「5種類以上の花材を使うまぜざしは、西洋のアレンジメントとどう違う?」、「単純化の極のテーマは小さなサイズの作品をいけるだけではない?」など海外の方に説明するときのポイントを考えましょう。

●授業時間：11時30分～14時30分 ●受講料：11,000円(税・材料費込) ●申込資格：草指連会員 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・草指連会員番号・住所・電話番号・(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：8月10日(土) (ただし定員になり次第締め切ります)

草月WEST 秋の特別野外セミナー 2024

秋の京都で竹の合作に挑戦！
草月学習者であれば、どなたでも参加できます！

- 【日時】 2024年9月29日(日) 10時～17時
※終了時間は制作状況によって前後します。
- 【会場】 梅小路公園/京都市下京区(JR梅小路京都西駅目の前)
※草月WESTから徒歩数分です。
- 【技術指導】 草月アトリエ
- 【参加料】 16,000円(教材費・昼食込み)
- 【内容】 秋空の下で竹のグループ合作に取り組みます。
ドリルや工具の使い方、重量バランスの取り方など、小品とは全く違う制作手順を草月アトリエの技術指導を受けながら学びます。市民の憩いの場である公園が会場ですので、行きかう皆さまの注目が集まります。
草月のパワーを発揮して、あっと驚く大作を完成させましょう！
- 【撤去】 10月8日(火)に運営側で行いますが、ぜひご協力ください。残材持ち帰りOKです！

昨年の制作風景



●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前 ②草指連会員番号(お持ちの方) ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥門下別(または所属教室名)をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：9月14日(土)
●参加資格：草月学習者(初心者からベテランまでどなたでもご受講可)
※本講座は、[公益財団法人京都市都市緑化協会]が主催する「梅小路公園グリーンフェア2024秋」事業の一環として出展し、同協会の協力を得ながら開講します。

家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。
新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・
再入会金が不要

	金曜	土曜	テーマ	講師
	14時30分	10時30分/14時30分		
9月	20日	21日	意外な空間での立体造形	片山健
10月	18日	19日	艶	竹中麗湖
11月	15日	16日	竹で遊ぶ X'mas	片山健

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料(家元)：15,000円(花材費込み。同月2回目以降は12,000円) / (本部講師)：12,000円(花材費込み。同月2回目以降は9,000円)

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

9月	金曜	6日	加藤久美子	13日	中田和子	27日	五十野雅峰
	土曜	7日	〃	14日	〃	28日	〃
10月	金曜	4日	岡本青珠	11日	澤田晃映	25日	加藤久美子
	土曜	5日	〃	12日	〃	26日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金：11,000円 ●月謝：12,000円(月3回分。花材費別：1把900円) ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(5,000円。花材費別/都度払い)。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

世界中のどこからでも参加できる「オンライン家元教室」。東京・草月会館または京都・草月WESTの「家元教室」に在籍している4級師範以上の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
【お問い合わせ・お申込み】 草月WEST / TEL: 075-366-3647 E-mail: west@sogetsu.or.jp

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みいただける魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひ受講ください。

受講日・テーマ	講師	内容
8月21日(水) 藍とあそぶ	 新田陸嘉	描画に適したインディゴ(人工藍)と、和紙や植物素材を使って、自分だけの造形を目指しましょう。
10月16日(水) 空間と存在	 秋山美晴	目の前の空間の中で作品が魅力的な存在感を放つための、ボリューム感や色彩、間の取り方などを考え、空間との関係性を探りましょう。存在感とはサイズなのか、ボリュームなのか、印象の強さなのか——。机から離れた勉強会を!と思っています。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：5,500円(教材費別) ●定員：20名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：開催日の前々週の週末(ただし定員になり次第締め切ります)。

本部主催支部研究会・講習会

富山県支部	8月25日(日)	講習会 富山県民共生センター サンフォルテ	林青影	☎ 090-2379-2154
岐阜県支部	8月25日(日)	研究会 岐阜市文化センター 展示室(3階)	河田菁芳	☎ 058-232-8737
群馬県支部	9月8日(日)	研究会 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 大展示ホール	正木虹映	☎ 027-327-7624
山梨県支部	9月22日(日)	研究会 山梨県立青少年センター	鈴木千幸	☎ 090-2217-2297
福井県支部	9月22日(日)	研究会 市民プラザたけふ 4階 多目的ホール	土田由萌	☎ 0778-23-5995
福岡県支部	9月28日(土)	研究会 警固神社社務所ビル 4階 会議室(家元指導)	片山紅早	☎ 092-843-1875
北海道支部	9月29日(日)	講習会 かでる2.7(北海道立道民活動センター)	伊藤遊	☎ 011-778-9603
三重県支部	10月6日(日)	研究会 四日市市地場産業振興センター	福頼里雲	☎ 059-333-2411
香川県支部	10月20日(日)	研究会 (会場調整中)	関薫美	☎ 090-5919-5706
沖縄県支部	11月2日(土)	研究会 ザ・ムーンビーチ ミュージアムリゾート 宴会場(家元指導)	金城蹊翠	☎ 098-836-7226
島根県支部	11月10日(日)	講習会 松江市市民活動センター(スティックビル) 交流ホール	増本市子	☎ 0852-23-3648
奈良県支部	11月24日(日)	研究会 草月WEST	福井靖星	☎ 090-3359-8977
石川県支部	12月8日(日)	研究会 金沢市ものづくり会館	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
宮城県支部	12月15日(日)	講習会 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)	佐藤霞岳	☎ 022-304-5620
大分県支部	2025年2月16日(日)	研究会 J:COM ホルトホール大分	守田芳伸	☎ 0977-66-1311

支部展

神奈川県支部展「そして未来へ」(家元出品)	8月21日(水)～26日(月) 横浜高島屋ギャラリー 8階	北島里夏	☎ 0467-53-8857
千葉県支部展「 ^{かける} 翔一花とともに」(家元出品)	9月20日(金)～25日(水) ホテルニューオータニ幕張	野村浩秋	☎ 043-291-1163
岩手県支部展「Let's enjoy いけばな!!」	9月21日(土)・22日(日) アイーナ いわて県民情報交流センター 4階 県民プラザ、5階 ギャラリー	四役滋陽	☎ 019-623-5548
高知県支部展「チャレンジ!! ～未来へ～」	9月21日(土)～23日(月・祝) 高知文化プラザかるぼーと 第3展示室	筒井美香	☎ 088-882-8977
広島県支部展「What's SOGETSU?」	福山会場:10月4日(金)・5日(土) 広島県民文化センター・ふくやま 広島会場:10月12日(土)・13日(日) 広島県民文化センター	高橋陽春	☎ 090-5266-5969
愛媛県支部展「百人一花」	10月11日(金)～13日(日) いよてつ高島屋 9階ローズホール	玉井汀州	☎ 090-9458-1477
新潟県支部展「What's SOGETSU? ～未来に伝える花～」	10月13日(日)・14日(月・祝) 新潟日報メディアシップ	小林秀紅	☎ 025-283-3873
沖縄県支部展「リゾートにいける ～光・風・音を感じて～」	11月2日(土)・3日(日・祝) ザ・ムーンビーチ ミュージアムリゾート	金城蹊翠	☎ 098-836-7226

各地の展覧会

阿波藍×草月流いけばな展 藍色の空に舞うハタル(出村丹雅草グループ)	7月27日(土)～9月1日(日) 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷	林春麗	☎ 088-678-2778
長崎県支部 第30回長崎原爆資料館献花 ～平和への祈り～	8月8日(木)～10日(土) 長崎原爆資料館パビリオン	小島星女	☎ 090-5387-5985
草月流いけばな五人展 旅と花の力 加賀百万石編	8月28日(水)～30日(金) 金沢市民芸術村 アート工房	杉本青門	☎ 090-3767-1615
暁春教室展	9月4日(水)～7日(土) 草月プラザ	呉暁春	☎ 090-8857-9422
「写真いけばな・考」載本春民	9月12日(木)～14日(土) 八戸ポータルミュージアムはっち 1階 ギャラリー1	載本春民	chirachika81@gmail.com
小林蕉明社中展「花おどる 色ひびく」	9月13日(金)・14日(土) 草月プラザ	小林蕉明	☎ 042-493-2433
第25回大澤秀紅社中展「発見 Kirari」	9月22日(日)・23日(月・祝) 三島商工会議所 TMOホール	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
Atelier Reio 社中展 Re:born ―その先に見えるもの―	10月4日(金)～7日(月) ANAインターコンチネンタル東京(港区)	モランジュ真紀子	☎ 090-5901-0070
草月流いけばな 井上佐芳社中展 花遊び	10月12日(土)～14日(月・祝) 竹林寺(高知市)	井上佐芳	☎ 088-865-5575
Team Albello 「Ikebana Creation」	10月13日(日)・14日(月・祝) 富山県民会館 3階 ギャラリーC	亀谷美樹	☎ 076-492-6120
北村青霞社中展 「連花 れんか れんか れんか れんか あそぼう2」	11月29日(金)～12月1日(日) 高幡不動尊 宝輪閣地下(東京都日野市)	北村青霞	☎ 090-9830-7892

年間行事予定

8月10日(土)～18日(日)	草月会館夏季休館日
9月11日(水)～10月1日(火)	草月の秋2024(玉川高島屋S.C) ※家元、東京西支部・東京南支部・神奈川県支部によるフラワーク
10月9日(水)～14日(月・祝)	第9回日本いけばな芸術信越展(新潟伊勢丹) ※家元通期出品
10月16日(水)	財団理事会
10月23日(水)～28日(月)	第105回草月いけばな展(日本橋高島屋S.C.)
11月3日(日・祝)～10日(日)	20周年記念山中花回廊(石川県加賀市山中温泉) ※石川県支部・福井県支部・富山県支部参加
2025年1月12日(日)	「茜家元と迎える新年の会 2025」と昇格お披露目(草月会館)
1月22日(水)	財団理事会
1月25日(土)	草月新春懇親会 ※昇格お披露目セレモニーあり(ホテルニューオータニ大阪)

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。9月7日(土)、10月26日(土) ※草月WESTは月曜定休。臨時休業もありますので、お問合わせください。

フラワーク

とらや赤坂本店	3階茶寮	8月	橋本佳蘭	赤坂見附
		9月	一瀬青尚	
		10月	中村永教	
ザ・キャピトルホテル東急	3階ロビー・1階エントランス	常設	座・草月	溜池山王・国会議事堂前
ホテルニューオータニ東京	ロビー階	8月2日～29日	川名哲紀	赤坂見附・永田町・麹町
		8月31日～10月1日	竹中麗湖	
		10月3日～11月11日	久保島一超	
ホテルニューオータニ幕張	1Fエントランス (ハロウィン装飾)	9月28日～10月31日	座・草月	海浜幕張
ホテルOMO3 東京赤坂 by 星野リゾート	フロント・エントランス	8月	村越大嶺	赤坂見附・赤坂
		9月	秋山美晴	
		10月	東和霞	
横浜ベイホテル東急	B1階神殿口・神殿前	常設	御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ホテルエミオン京都	笹屋伊織別邸	常設	草月WEST	梅小路京都西
	3階ロビー		京都支部	
	1階広場(七夕装飾)		～9月3日 高嶺一染	
INFINITI×SOGETSU	日産グローバル本社ギャラリー	7月9日～8月18日	飯岡湖武孜	横浜
京の夏の夜を楽しむ街歩きイベント「青龍」アートモニュメント	京都・八坂神社	8月9日～8月25日	倉田康治	京都・京阪祇園四条
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		～8月2日	多田霞優	青山一丁目
		9月2日～13日	田淵章流	
		9月17日～27日	松崎丹虹	
		9月30日～10月11日	花崎陽文	

カレンダーに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

【ご注意ください】「各地の展覧会」掲載ご希望の方へ

- ・出版部 編集制作室まで、E-mail、FAX、郵送にて必要事項(下記)をお知らせください。
- イベント名 ●開催日時 ●会場 ●開催趣旨(個展、社中展等) ●問合わせ先のお名前、電話番号またはメールアドレス
- ・不達による掲載漏れを防ぐため、FAX、郵送の場合は、送付後必ず確認のお電話をいただきますようお願いいたします。
- E-mailの場合は、こちらより受領確認のメールを差し上げております(確認メールが届かない場合はお問合わせください)。

[出版部 編集制作室] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:info@sogetsu.or.jp / 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21

茜家元と迎える 新年の会 2025

東京と大阪。草月の花と一流ホテルの食事で祝う、特別な日

パーティーは
大阪や!同封の
申込用紙を
ご覧ください

【茜家元と迎える新年の会】2025年1月12日(日)

14:00～16:00 (草月ホール/全席指定450名)

- 茜家元の新年ご挨拶と初いけ・昇格お披露目セレモニー
- 2024年度草月優秀賞ノミネート発表
- お披露目の皆さんによる初いけ作品展示(2階談話室) ※「昇格お披露目」のお申込みは別紙をご覧ください。

【参加費】

「茜家元と迎える新年の会」のみご参加

10,000円 (お一人様)

※団体割引(10名以上):6,600円(お一人様)

「懇親会パーティー」のみご参加

30,000円 (お一人様)

※団体割引(10名以上):28,000円(お一人様)

【お申込み期間】

2024年9月3日(火)10:00～ 満席になり次第締め切り

【お申込み方法】

申込用紙と参加費が揃った順に受付いたします。

申込代表者は草月指導者連盟会員(2024年度完納)に限ります。会員のご家族、ご友人様もお申込みいただけます。

●申込書ご提出方法

E-mail、FAX、郵便にて承ります。(9月3日消印から有効)

【懇親会パーティー】2025年1月25日(土)

11:00開場/12:00開宴 (ホテルニューオータニ大阪・鳳凰の間)

- 5年ぶりに関西で開催!ぜひ茜家元と新年を祝いましょう
- 「昇格お披露目」の皆さんによるご挨拶
- テーブル単位で賞品が当たる「テーブル対抗大抽選会」で支部や社中の仲間と盛り上がりましょう!

●参加費ご入金(9月3日入金より有効)

窓口申込:草月会館3階・会員サービス部窓口にて申込用紙に参加費を添えてお申込みください。

郵便振替:ゆうちょ銀行備え付けの振込用紙に、通信欄に必要事項をご記入の上、参加費をお振込みください。

郵便振込口座番号:00140-2-355112 加入者名:一般財団法人草月会事務局 通信欄:①行事名「茜家元と迎える新年の会」または「懇親会パーティー」②代表者名情報(会員番号・氏名・雅号・住所・電話番号)③参

加内容(「新年の会」または「懇親会パーティー」)・それぞれの人数

[お問合わせ/総務課]

TEL:03-3408-1154 / FAX:03-3405-4947

E-mail:somu@sogetsu.or.jp